

歴史プリント「激動する東アジアと日清・日露戦争」P172～179

○教科書をよく読み、Q(質問)に対しては記述で、空欄については用語を書いて埋めましょう。教科書は P172～P179 が範囲になりますが、P156 の幕末～明治維新から読むと、歴史の流れがよくわかると思います。プリントにある用語で分からないものがあれば、教科書や辞書などを活用して必ず調べてメモしておきましょう。

◆列強の植民地拡大(P172～173)

Q1 列強とはどのような国のことですか？

工業・産業技術の発展は、国際的な経済活動につながり、地中海と紅海を結ぶ(①)運河が開通した。
武力によって植民地を拡大していこうとする(②)の動きが広まった。

◆アジアに迫る列強(P172～173)

イギリスは(③)を完全に植民地化し、フランスはインドシナ、アメリカはフィリピンに勢力を伸ばした。
ロシアは、ウラジオストクとペテルブルグ間を結ぶ(④)の建設を始めた。

Q2 列強はなぜアジアへ勢力を広げようとしたのですか？

◆条約改正の歩み(P172～173)

近代国家を目指す日本の課題は(⑤)の改正である。
1886年(⑥)事件が発生。



←⑥の事件の風刺画

Q3 空欄⑥の事件はどのような点で、問題になったのでしょうか？

明治政府は条約改正の交渉を進めるが、欧米諸国は日本の近代化が進まないことを理由に応じない。

→そこで政府は、欧米の風俗や慣習を取り入れた(⑦)政策を進める。

・日本の立憲政治の実現したことを背景に、1894年(⑧)が治外法権の撤廃に成功する。

1911年(⑨)の交渉により関税自主権を完全に回復する。

◆日清戦争(P174～175)

1894年、朝鮮で(⑩)戦争が始まる。背景：政治改革や外国勢力の排除

この騒動を鎮めるため、朝鮮政府の求めで、(⑪)が出兵し、競うように(⑫)も出兵した。

→(⑬)が始まる。朝鮮や遼東半島を戦場としておこなわれた戦争は、(⑭)の勝利で終わる。

◆下関条約と三国干渉(P174～175)

1895年、山口県で講和会議が開かれ、(⑮)が締結された。

内容：(⑯)の独立。(⑰)・台湾・澎湖諸島の譲渡。賠償金(日本円で3億1千万円)の支払い。

しかし、日本の勢力拡大の警戒した、ロシア・ドイツ・フランスが遼東半島の返還を求める(⑱)を行う。

Q4 日清戦争での勝利は、日本にどのような影響を与えたのだろうか？

◆分割される中国(P176~177)

清は(18) _____)として恐れられていたが、日清戦争での敗北により、欧米列強の清への勢力拡大が進んだ。

◆義和団事件(P176~177)

欧米列強の進出が進む清国内では、政治改革を行うものの失敗し、義和団(民衆)が外国人を追い出す運動を始める。

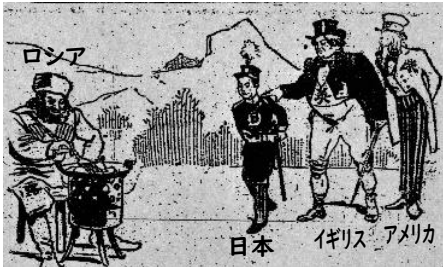
1900年、義和団が外国の公使館を包囲したことに対し、日本・ロシアなど8カ国で鎮圧した(19) _____)が発生。

1901年、清は欧米列強に対して、(20) _____)・(21) _____)を認めた。

◆日英同盟の成立(P176~177)

義和団事件後、ロシアは満州の占領や軍事施設の強化など、東アジアでの勢力拡大を目指す。

勢力拡大に脅威を感じていた(22) _____)と(23) _____)は、1902年(24) _____)を結んだ。



Q5 この風刺画は、日英同盟のどのような面を表しているのだろうか？

◆日露戦争の始まり(P178~179)

中国・朝鮮で勢力を拡大し続けるロシアに対して、日本政府は外交による交渉で問題の解決を目指すがまとまらず。

国内では、ロシアとすぐにでも戦うことを主張する開戦派と、

キリスト教徒の(25) _____)や、社会主義者の(26) _____)の非戦論派の対立が進む。

結局、ロシアとの交渉まとまらず、1904年、日本軍がロシアの軍事拠点の旅順を攻撃し(27) _____)が始まる。

◆戦争の講和と影響(P178~179)

1905年9月、アメリカ大統領の仲立ちで、(28) _____)を結ぶ。

Q6 ポーツマス条約の内容を、箇条書きでまとめてみよう。

Q7 賠償金を獲得できなかったことは、日本の社会にどのような影響を与えたのだろうか？

日露戦争の勝利は、日本が(29) _____)の仲間入りを果たしたという意識が国内に広がることになる。

また、列強の支配に苦しんでいた、中国、インド、トルコなどの人々に希望を与え、アジア諸国で(30) _____)や近代化の動きが活発になった。

今回の課題はここで終わりです。お疲れさまでした。